



にじのはし幼稚園 園だより



令和5年6月号
港区立にじのはし幼稚園
園長 石川典子

先日のお台場学園学習成果発表会（体育の部）では、ご参観ありがとうございました。友達や先生と一緒にダンスを楽しんでいる様子をご覧いただき、入園・進級後の園児たちの成長を感じていただけたことと思います。



にじのはし幼稚園は、健康な生活リズムと習慣、基本的な生活行動が身に付くようにします。

○健康な心と体を育むため、様々な体を動かし、心と体が動く気持ちよさや楽しさの体験や、基本的な動きの獲得を重視し、発達に即した運動遊びの工夫、戸外遊びを推奨しています。

（幼稚園経営計画 4 経営の重点の今年度の主な取り組み（1）②より）

子どもの「心」と「体」は密接につながっています。幼児期は心と体の両方が相互に影響し合いながら発達していきます。幼児の心と体の発達を促すものは「遊び」です。幼児期には、遊びの中で必要な経験をすることで心と体が発達します。

「心」の発達の特徴としては、自己概念が形成され、物事を自己中心的に見ていた子どもたちが、自分のことを客観視できるようになります。そのため、運動遊びの中で幼児自身が、「自分は上手になった」「がんばったからできるようになった」など自分自身を肯定的に捉えるようになり、有能感を感じます。有能感は自分の力で環境との関係を変えることができた時に感じます。特に運動遊びでは、上達したことが幼児にとって実感しやすいため有能感を感じやすく、自信につながります。できないことがあっても「もう一回やってみよう」と意欲的に運動遊びや様々な活動に関わるようになります。ご家庭でも、お子さんががんばっていること、できるようになったこと、楽しんでいること、自信をもっていることなどに寄り添い、気持ちを受け止めたり、共感したりしてください。

幼児期の「体」は中枢神経系が発達し、運動を巧みにコントロールする運動コントロール能力が高まります。特定の運動に偏ることなく様々な運動遊びを幅広く経験し、色々な動きを身に付けることが大切です。園では幼児の発達に合わせて、幼児が「楽しそう」「やってみよう」とわくわくしながら取り組める楽しい運動遊びや戸外遊びを行っています。

蒸し暑い日が多くなりますが、熱中症に気を付け、安全に水遊びやプール遊びなど、この時期ならではの楽しい遊びをします。水の気持ちよさを感じながら、伸び伸びと心と体を動かすことができるようにしていきます。今月もどうぞよろしくお願いたします。

